

●ほんのひとこと

希望を追いかけて●出版協理事 **石田俊二**

三元社

トーハンと日販の返品協業がはじまったようで、小社にもトーハンから日販の注文品の返品が返ってきている。返品伝票が、トーハンの形式になっており、それに日本出版販売、日を○で囲んだマークがついているのだが、かなり紛らわしい。もっと分かりやすくならないものだろうか。誤って、トーハンの返品として伝票入力をしてしまいそうになる。日販の返品伝票はこれまで通りにきているのだし。

あと、今回から、日販の返品伝票が入っています、くらいの連絡をしてもいいと思うのだが、そんなことさえなかったと思う。いつ頃から順次というお知らせはあったとはいえ、受け取る側への配慮がまったくないように思える。

返品運賃なども、これまでと同様のはずなので、注意が必要だろう。いつのまにか間違えてかわっていたりするかもしれないから。

日販の委託のWeb申し込みは、煩雑で特定の担当者がいない版元には負担が大きいように思える。ただひとつ良くなったことは、委託配本先が分かるようになったことだ。これまで、配本リストをとるのに、6000円とか7000円がかかっていたと思う。これだけは、改善されたようだ（トーハンも同じようにしてほしい）。

ただ、トーハンもそうだが、Web上での書店からの申し込みというのは、本当に機能しているのだろうか。毎日、数百点の新刊がでている。これを書店担当者がすべてチェックなど出来とは思えない。大手版元の新刊を追うだけでも精一杯ではないだろうか。また各棚の担当者がみているかどうか分からない。

結局、いままで通りにFAXで新刊情報を書店に届けるしかないようだ。あるいは営業担当者が直接店頭に行くしかない。

何かちぐはぐな気がしてならない。

また、出荷から書店に届くまでにど

れだけの日数がかかっているのかなど、小社などでは分からない。ときおり、「何日の注文は出荷していますか」と書店さんから問い合わせがくる。「取次には何日にいれました」と答えるのだが、いつ着くのかはまったく分からない。せめて取次搬入日が何日なら、何日には確実に書店に届くぐらいのことは、言えないものだろうか。もちろん地域による違いもあるだろうが。これでは、アマゾンなどのインターネット書店が利用されるのも無理はないかもしれない（ただ、アマゾンなどは送料無料としたりするので、これはフランスなどのように、送料をとらないのは実質値引きなのだから違法とすべきであると思うのだが。既存の書店が圧倒的に不利になっているから）。

一部のコンテンツ産業をもっている大手版元以外、取次、書店も含め厳しい状況が続いていること明かだろう。なにか特効薬があって、この状況から抜け出ることができるなどということもなさそうである。

しかし、大手から零細まで版元をかかえ、それぞれが、出したい本を出せていくということが、今、本当に重要なことのように思える。とりわけ第二次安倍政権以降の、新聞、テレビの凋落は目に余るものがあり、それは現在も変わらない。時の権力に寄り添うような報道番組、ワイドショー、新聞も発表をそのまま追認するような記事ばかりが目立つ。記者会見での、つっこみのない質問、答えにならない答えをそのままに、それ以上は追求しないなど、第四の権力などと言われていたことが沉黙のように思える。

こうした中、もちろんヘイト本やよいしょ本を出す版元もある。しかし、大から小までの版元が、頓着なく、出したい、読者に届けたいという本、時の権力に真っ向から批判を浴びせたりする本、腐敗を暴く本を出せていることは唯一の救いなのではないか。そして、

それを流通させ、書店もそれを並べて読者に届けてくれようとしているのだから。

小社も人文社会・美術系の出版物を長年（もう長年といってもいいぐらいになった）刊行してきた。専門書、学術書がほとんどだ。それを通じて現在の問題をいかに捉え、何を考えていかなければならないのか、そしてどうすれば少しでも、よりよい社会の実現が可能なのかなど、学生さん、一般読者とともに歩んできたつもりであったし、これからもそうでありたいと思う。まわりの版元のみなさんジャンルはそれぞれとしてもそうだろうと思う。

しかし、ここ十数年を振り返ると、いったい何をやってきたのだろうか、落胆せざるをえない。なにか逆方向に社会も時代も進んでいるように思える。

誰の目論見かは分からないが、あるいは文科省の無能のせいか、研究者がまともに研究できる状況が失われていつている。ノーベル賞受賞者が口をそろえて、こんなやり方では、どんどんダメになると言っているにもかかわらず、なんとかファンドやら、集中投資みたいな、まるで、株式投資か、宝くじでもやっているような予算措置をしている。これでは、理科系も文科系も、地道な基礎研究などできるわけがない。数年後には、その付けがまわってくるに違いない。

希望のない話になってしまった。希望は実現しないからこそ希望なのだが、薄もやのなかの希望を追いかけていなくては、希望は消えてしまうだろう。先に書いたように、唯一出版業界だけが、まだ、第四の権力としての存在感を示し、希望を追いかけていると信じたい。そのためにも、出版業界は、今の苦境を乗り越えていかなければ。淡い希望に終わらないことを望むばかりである。

「総額表示」はしていません
価格は「本体価格」で表示

ISBNは冒頭の「978-」を
省略して掲載しています

▼アルファベータブックス/03-3239-1851
alpha-beta@ab-books.co.jp
https://alphabetabooks.com

●京阪電車・叡電・嵐電 街と駅の話
山下ルミコ・著
2980円/ B5 / 160頁 / 並製 4-86598-924-3
C0026 / 9月29日

▼解放出版社/06-6581-8552
hanbai@kaihou-s.com
http://www.kaihou-s.com

●差別の連鎖を断つ
—反差別、共生の願い、その広がりとながりを求めて、ハンセン病市民学会年報2023
ハンセン病市民学会・編
1800円/ A5 / 208頁 / 並製 4-7592-6822-5
C0030 / 9月2日

▼現代書館/03-3262-5906
http://www.gendaishokan.co.jp

●亀たちの時間
フランチェスカ・スコッティ・著、北代美和子・訳
2000円/ 46 / 160頁 / 上製 4-7684-5981-2
C0097 / 9月中旬
●令和ひとりカルト最前線
—サバイバルリズム時代の生存戦略
真鍋厚・著
2200円/ 46 / 224頁 / 並製 4-7684-5982-9
C0036 / 9月下旬

▼彩流社/03-3234-5932
sairyusha@sairyusha.com
http://www.sairyusha.com

●みーちゃん5歳、難民に会いに世界へ行く、子どもと学ぶ、子どもから学ぶ
高木あゆみ・著
2200円/ A5 / 72頁 / 並製 4-7791-3075-5
C8736 / 9月17日
●『伊藤整 太平洋戦争日記』を読む
澤井繁男・著
4000円/ 46 / 500頁 / 並製 4-7791-3072-4
C0095 / 9月25日
●バンコクの名門 オリエンタルホテル物語
永宮和・著
2000円/ 46 / 188頁 / 並製 4-7791-3065-6
C0022 / 9月26日

▼筑波書房/03-3235-5949
tsukuba@tsukuba-shobo.co.jp
http://www.tsukuba-shobo.co.jp

●危機に瀕する日本農業—新基本計画は脱却の道筋を示したか、日本農業年報70
谷口信和・編集代表、東山寛・編

2500円/ A5 / 170頁 / 並製 4-8119-0704-8
C3061 / 9月12日

▼南方新社/099-248-5457
info@nanpou.com
http://www.nanpou.com

●田中一村 流瀆の画家
荒井曜・著
1800円/ 46 / 220頁 / 並製 4-86124-540-4
C0093 / 9月中旬
●観光と地域II
—現場にまなぶ観光のかたち、南方ブックレット17
深見聡・編著
1300円/ A5 / 136頁 / 並製 4-86124-544-2
C0026 / 9月中旬

▼論創社/03-3264-5232
ronsosya@hanmoto.com
http://ronso.co.jp

●忘まわしき悪党、論創海外ミステリ335
レックス・スタウト・著、洲上瘦平・訳
2600円/ 46 / 256頁 / 並製 4-8460-2509-0
C0097 / 9月4日
●江戸に学ぶ
—江戸往来・近世と現代、そして未来
伊藤章治・著
2500円/ 46 / 280頁 / 並製 4-8460-2511-3
C0021 / 9月11日
●サヨナラソング—帰ってきた鶴
鴻上尚史・著
2000円/ 46 / 220頁 / 並製 4-8460-2521-2
C0074 / 9月12日
●沖縄の路線バス おでかけガイドブック [第4版]
室井昌也、谷田貝哲・編著
1600円/ A5変 / 176頁 / 並製
4-8460-2523-6 C0026 / 9月15日
●風狂講釈師 志道軒—人情江戸灯り、論創ノベルス25
高妻秀樹・著
2200円/ 46 / 344頁 / 並製 4-8460-2504-5
C0093 / 9月15日
●路上のゲームから「近代」を考える
—アジア遍歴の旅
匠雅音・著
2500円/ 46 / 248頁 / 並製 4-8460-2517-5
C0036 / 9月19日
●時代に愛された人々たち2—一世を風靡した芸能人ら39人の声、論創ノンフィクション67
中野裕子・著
2000円/ 46 / 256頁 / 並製 4-8460-2484-0
C0036 / 9月30日
●疫病退散たべもの記—病除けの祈りと食のまじない、論創ノンフィクション66
吉野りり花・著
2000円/ 46 / 264頁 / 並製 4-8460-2445-1
C0036 / 9月30日
●国会採決を告げる電鈴、論創海外ミステリ337
エレン・ウィルキンソン・著、井伊順彦・訳
2800円/ 46 / 272頁 / 並製 4-8460-2518-2
C0097 / 9月30日
●時計殺人事件、論創海外ミステリ336

ルーファス・キング・著、熊井ひろ美・訳
2700円/ 46 / 280頁 / 並製 4-8460-2516-8
C0097 / 9月30日
●爆裂忠臣蔵—桜吹雪THUNDERSTRUCK,
K.Nakashima selection44
中島かずき・著
2000円/ 46 / 264頁 / 並製 4-8460-2522-9
C0074 / 9月30日
●CRITICA Vol.20
探偵小説研究会・著、横井司・編
1500円/ A5 / 292頁 / 並製 4-8460-2519-9
C0095 / 9月30日

——8月に出た本

▼アルファベータブックス/03-3239-1851
alpha-beta@ab-books.co.jp
https://alphabetabooks.com

●ヒギンズさんが撮った北海道の私鉄
—コダクロームで撮った1950~70年代の沿線風景
ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ・写真、安藤功・解説
3600円/ B5 / 192頁 / 並製 4-86598-923-6
C0026 / 8月27日

▼解放出版社/06-6581-8552
hanbai@kaihou-s.com
http://www.kaihou-s.com

●授業と学級社会づくり
—人権を基調に
園田雅春・著
1900円/ 46 / 232頁 / 並製 4-7592-2176-3
C0037 / 8月18日

▼創森社/03-5228-2410
hanbai@soshinsha-pub.com
http://www.soshinsha-pub.com

●新ブドウ栽培学—ワイン用ブドウの科学
ジェイミー・グッド・著、日向理元・訳
6800円/ B5 / 426頁 / 並製 4-88340-375-2
C0061 / 8月21日

▼ひとなる書房/03-3811-1383
hitonaru@alles.or.jp
https://hitonarushobo.jp

●雨がふってもわらべうた うたって笑ってわらべうた
わらべうたネットワークうたぼこの森・編著
2400円/ B5 / 144頁 / 並製 4-89464-313-0
/ 8月21日

▼めこん/03-3815-1810
mekong@bolero.plala.or.jp
http://www.mekong-publishing.com

●プラムディヤ・アナンタ・トゥールとその時代(上)
押川典昭・著
4500円/ A5 / 564頁 / 並製 4-8396-0343-4
C3022 / 8月28日
●プラムディヤ・アナンタ・トゥールとその時代(下)

押川典昭・著

4500円／A5／624頁／上製 4-8396-0344-1
C3022／8月28日

▼ロクリン社／03-6303-4154

info@rokurin.jp

https://www.rokurin.jp

●こびとづかん マグネットブック 大生態図編
1700円／A5変／4頁／マグネットブック
4-86761-033-6 C8776／8月29日

▼現代書館／03-3262-5906

http://www.gendaishokan.co.jp

●[増補新装版] 差別されてる自覚はあるか
—横田弘と青い芝の会「行動綱領」

荒井裕樹・著

2400円／46／312頁／並製 4-7684-3612-7
C0036／8月19日

●あしたの朝、頭痛がありませんように

青木志帆、谷田朋美・著

2200円／46／224頁／並製 4-7684-3613-4
C0036／8月25日

▼彩流社／03-3234-5932

sairyusha@sairyusha.com

http://www.sairyusha.com

●食の国 ペルーでの最高に贅沢な日々

宮崎泰・著

2000円／46／204頁／並製 4-7791-3067-0
C0025／8月5日

●柳田國男の名著を読む

—変革と保守の民俗学

小野耕資・著

2500円／46／232頁／並製 4-7791-3064-9
C0095／8月5日

●ジオノに挨拶するためにⅢ

—平和と豊かさと節度を求めて

山本省・著

3000円／46／336頁／並製 4-7791-3068-7
C0098／8月18日

●被爆者・切明千枝子さんとの対話

—〈私たちの復興〉をめざして

桐谷多恵子・著

1800円／46／208頁／並製 4-7791-3069-4
C0021／8月26日

●センサスが語るアメリカ史

—人口と統治の結びつきがもたらす国家の変容

加藤洋子・著

3200円／A5／284頁／並製 4-7791-3066-3
C0022／8月26日

●森と黒潮と神話の旅

—吉野、熊野、伊勢をつなぐ聖地巡礼

平田毅・著

2000円／46／204頁／並製 4-7791-3060-1
C0026／8月26日

●夢で言いたい放題

—夢幻が人生か……

永峯清成・著

1600円／46／138頁／並製 4-7791-3071-7
C0095／8月27日

▼随想舎／028-616-6607

hanbai@zuisousha.co.jp

https://www.zuisousha.co.jp

●お囃子のある風景・とちぎ

茂木真弘・著

2000円／46／168頁／並製 4-88747-440-5
C0039／8月1日

▼南方新社／099-248-5457

info@nanpou.com

http://www.nanpou.com

●ユタに生きる 下巻

円聖修・著

1800円／46／222頁／並製 4-86124-541-1
C0011／8月20日●踊らされたくない、あなたへ。なぜに特攻、
十五歳—元予科練の父、元新聞記者の息子によるイン
タビュー、南方ブックレット18

吉田昭一郎・著

1200円／A5／110頁／並製 4-86124-549-7
C0021／8月20日

●中国蝶類図鑑

青山潤三・著

4800円／A5／240頁／並製 4-86124-548-0
C0645／8月25日

▼論創社／03-3264-5232

ronsosya@hanmoto.com

http://ronso.co.jp

●向かいを見つめる空き家の目、論創海外ミス
テリ334

J・J・ファージョン・著、小倉さなえ・訳

3300円／46／336頁／並製 4-8460-2460-4
C0097／8月5日

●凛々しき明治女性たち

根岸理子・著

1800円／A5／214頁／並製 4-8460-2455-0
C0023／8月22日

●日本の教会に響く歌、桜美林大学叢書25

松橋輝子・著

3000円／A5／272頁／並製 4-8460-2512-0
C0073／8月29日

●会員社一覧【2025年9月現在●67社】

【あ】

梓出版社

ありな書房

アルファベータブックス

一光社

インパクト出版会

【か】

海象社

解放出版社

海鳴社

花伝社

雁思社

吉夏社

気天舎

教育史料出版会

健学社

健康と良い友だち社

現代企画室

【こ】

現代書館

現代人文社

皓星社

合同出版

コモンズ

【さ】

桜井書店

彩流社

三元社

自然食通信社

社会評論社

出版人

松柏社

新泉社

水声社

随想舎

スタジオクッククリエイティブ

青灯社

【せ】

世織書房

せりか書房

千書房

創森社

創土社

草風館

【た】

知泉書館

地湧社

筑波書房

柘植書房新社

東信堂

同時代社

【な】

南方新社

【は】

パイインターナショナル

白澤社

晩成書房

ひとなる書房

批評社

風媒社

ブロンズ新社

べりかん社

北樹出版

ポラーノ出版

本の泉社

ほんの木

【ま】

明月堂書店

めこん

木屋社

【や】

唯学書房

有志舎

【ろ】

緑風出版

れんが書房新社

ロクリン社

論創社